

再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 中部縦貫自動車道 一般国道158号 永平寺大野道路	事業区分 高規格幹線道路	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局																														
起終点 自：福井県大野市中津川 至：福井県福井市玄正島町	延長 26.4km																															
事業概要 永平寺大野道路は延長約160kmにわたる中部縦貫自動車道の一部を構成し、大野市中津川から福井市玄正島町に至る26.4kmの自動車専用道路であり、高速交通ネットワークの形成、災害時の代替路の確保、災害時の安定した交通路の確保、高度医療機関へのアクセス向上、地域の活性化を図ることを目的に計画された高規格幹線道路である。																																
H2年度事業化		H4年度都市計画決定																														
H5年度用地着手		H10年度工事着手																														
全体事業費	1,290億円	事業進捗率																														
約74%		供用済延長																														
11.1km																																
計画交通量 18,800台/日																																
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">B/C</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">総費用</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">総便益</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">289/1,540億円</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1,926/2,205億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">6.7</td> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">171/1,422億円</td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">1,629/1,862億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">118/118億円</td> <td style="text-align: center;">(走行経費減少便益)</td> <td style="text-align: center;">212/248億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">85/96億円</td> </tr> </table>	B/C		総費用		総便益		(事業全体)	1.4	(残事業)/(事業全体)	289/1,540億円	(残事業)/(事業全体)	1,926/2,205億円	(残事業)	6.7	(事業費)	171/1,422億円	(走行時間短縮便益)	1,629/1,862億円			(維持管理費)	118/118億円	(走行経費減少便益)	212/248億円					(交通事故減少便益)	85/96億円	基準年 平成24年
B/C		総費用		総便益																												
(事業全体)	1.4	(残事業)/(事業全体)	289/1,540億円	(残事業)/(事業全体)	1,926/2,205億円																											
(残事業)	6.7	(事業費)	171/1,422億円	(走行時間短縮便益)	1,629/1,862億円																											
		(維持管理費)	118/118億円	(走行経費減少便益)	212/248億円																											
				(交通事故減少便益)	85/96億円																											
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=1.2~1.7(交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=5.5~8.0(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.4~1.4(事業費 ±10%) 事業費 : B/C=6.3~7.1(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.3~1.5(事業期間±20%) 事業期間 : B/C=6.5~6.9(事業期間±20%)																																
事業の効果等 ①高速交通ネットワークの形成 ・大野市～名古屋市の所要時間が短縮。 (2時間51分→2時間4分：47分短縮 [中部縦貫自動車道全線の効果]) ②災害時の代替路の確保 ・豪雨や豪雪により通行止めが発生する国道8号と北陸自動車道の広域的な代替路を確保。 ・原発災害時における広域避難路として機能。 ③災害時の安定した交通路の確保 ・一般国道158号の事前通行規制区間(連続降雨量140mm)および集中豪雨等による通行止時の安定した交通路の確保。 ④高度医療施設へのアクセス向上 ・勝山市～第三次医療施設(福井県立病院)への所要時間が短縮。(39分→29分：10分短縮) ・大野市～第三次医療施設(福井県立病院)への所要時間が短縮。(43分→31分：12分短縮) ・道路線形改善による走行性向上により、患者の負担軽減に寄与。 ⑤主要観光地へのアクセス向上 ・沿線へのアクセス性向上により観光客の増加が見込まれる(大本山永平寺観光客入込数：約58万人/年) ⑥日常活動圏の中心都市である勝山市へのアクセス向上 ・福井市～勝山市(52分→42分：10分短縮)																																
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： ・平成24年7月、中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会(福井県知事、福井市長、大野市長、勝山市長、永平寺町長より構成)より早期整備の要望を受けている。																																

- ・平成24年8月、中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会(岐阜県、福井県、石川県、富山県、長野県、山梨県の知事より構成)より早期整備の要望を受けている。
- ・平成24年8月、福井県議会高規格道路建設促進議員連盟より早期整備の要望を受けている。

県知事の意見：

- ・一般国道158号永平寺大野道路の対応方針(原案)「事業継続」については異存ありません。
- ・永平寺大野道路については、福井北・松岡間の平成26年度の開通および勝山・大野間の平成24年度の開通を確実に実現するとともに、平成28年度までのできるだけ早い時期に全線開通が図られるよう、事業費の確保と迅速な工事の実施をお願いしたい。
- ・大野油坂道路については、未事業化区間(大野・大野東間)の早期の事業化とともに、事業化区間(大野東・油坂間)の速やかな用地買収・工事着手により、一日も早い全線開通を図っていただきたい。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道158号永平寺大野道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成5年に「スキージャム勝山」が、平成12年に「福井県立恐竜博物館」がオープンし、中京・関西方面から多くの観光客が訪れている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

現在までに11.1km(暫定2車線)供用済みであり、用地取得は約97%完了。今後残る区間の工事進捗を図る。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

再評価結果(平成25年度事業継続箇所)

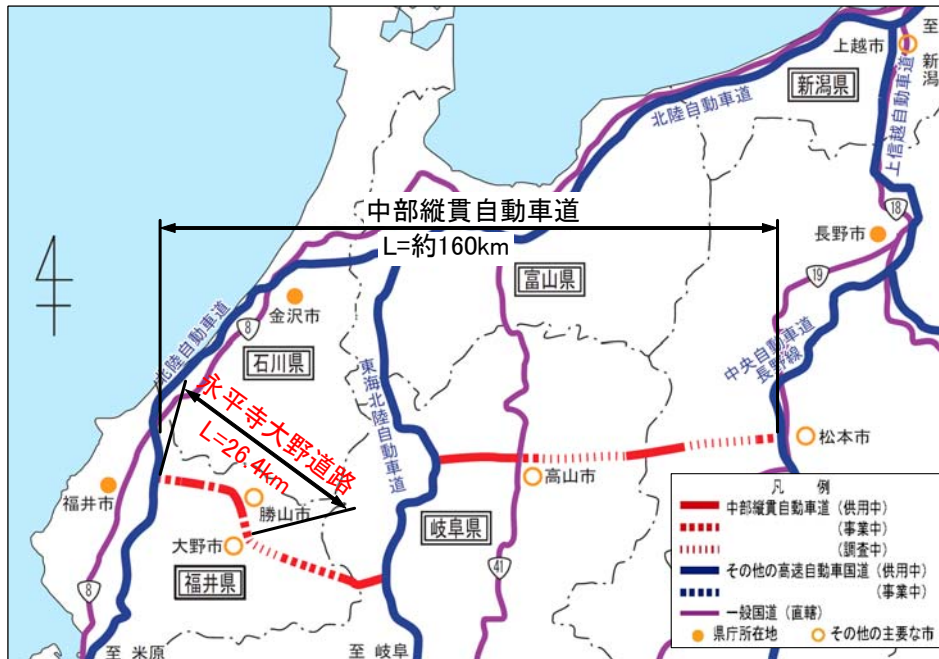
担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	中部縦貫自動車道 一般国道158号 永平寺大野道路	事業区分	高規格幹線道路	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：福井県大野市中津川 至：福井県福井市玄正島町	延長	26.4km		

事業概要図

【位置図】



【概要図】

